銅・アルミ市況見通し

12月

橋本アルミ取締役

橋本 健一郎氏レポート

銅

10月の伸銅品生産は前年同月比で2・7%増の7万3400トンで、5カ月ぶりの増加だった。

内需は同2%増の6万6612トン、輸出が同6・3%増の1万2788トン。銅条が同3・5%増の2万4731トンとなり、いずれも5カ月ぶりの増加。黄銅棒は同4・1%減の1万6002トンとなり2カ月連続でマイナスだった。

12月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	6000～6400ドル	上伸
電気銅建値	72万～77万円	上伸
為替（1ドル）	111～114円 （1カ月間TTM）	変わらず

10月の銅電線出荷は同2・6%増の6万4300トンで、うち国内が同4・6%増、輸出が同48・3%減となった。

銅輸出は、電気銅が同36・3%増の4万6495トン、銅スクラップが14・4%増の3万997トン。

銅輸入は、電気銅が同2・6倍の3809トン、銅スクラップが同27・9%増の1万2494トンだった。

銅スクラップ景況予想

電気銅建値は10月月初の72万円から足元で75万円まで回復。ここ最近の平均建値まで回復してきていることからスクラップ発生は出てくるのではないか？

需要面では足元の生産状況が回復傾向にある。メーカーの購入意欲は高くはないが、慢性的な原料不足で品費の良いスクラップは需要がある。年末に向けての狼狽売りも考えられる。需給は緩む、と予想する。

LME銅・為替予想

今月は米中貿易戦争の動向と朝鮮半島問題に左右される。

米中間選挙では、先のG20で中国からの輸入品の関税を来年1月に引き上げる制裁措置を一時（90日）見送ることを発表。代わりに中国は、貿易の不均衡を是正するため、アメリカから農産物やエネルギー、工業製品などを買い入れることで合意。中国側に軟化が見られることから90日以内に合意する可能性があると見る。

朝鮮半島問題では、トランプ米大統領は非核化実行なら「金委員長の望みかなえる」と文在寅韓国大統領に伝言した。金委員長との2回目の首脳会談を来年1月か2月にも開きたいとの意向を示していることから、こちらも前進が期待できると予想する。

アルミ

10月の圧延品生産出荷は板類・押出生産合計で同1・8%減の17万7161トンで10カ月連続の減。アルミニウム2次合金・同合金地金生産は同2%増の7万4105トンで13カ月ぶりのプラス。出荷は同5・8%増の7万6605トンで13カ月ぶりのプラスだった。

12月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ 現物後場買い	1900～2100ドル	変わらず
スクラップ	0円～＋α円 （前月最終価格より）	変わらず
為替（1ドル）	111～114円 （1カ月間TTM）	変わらず

10月の輸出はアルミ新地金が同50・6%増の125トン、二次合金が同2・1倍の2401トン、スクラップが同19・8%減の8833トン、アルミ缶が同28・6%増の6968トン。

10月の輸入はアルミ新地金が同55・4%増の17万1067トン、二次合金が同2・5%増の11万2311トン、スクラップが同4・8倍の2051トン、合金スクラップが同7・2%増の4429トン。

アルミスクラップ景況予想

流通在庫は、年末の狼狽売りや中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落している。このため売り玉があるのでは？

需要面では年末の休業により購買意欲は薄いと予想している。

東北大と産総研が作製に成功

磁気のない金属からナノ薄膜磁石

東北大学と産業技術総合研究所は、磁気のない金属からナノ薄膜磁石を作ることに成功したと発表した。通常磁気を示さない金属を特殊な金属と絶縁体で挟み込んだ新しい界面構造で、同磁石を組み込んだ素子の基本特性を室温で観測することにも成功した。超高集積不揮発性磁気メモリの実現のための材料開発に新しい視点を与える成果としている。

研究グループでは、数原子層の純マンガンを規則合金（常磁性体）下地の上に真空スパッタリング法で堆積し、酸化マグネシウムで挟み込んだ素子構造を作製。この界面に挟み込まれたマンガン層は微弱な磁気を発するナノ薄膜磁石へと変化し、その磁気の強さは強磁性体である鉄の約70分の1になることが分かった。また、磁気を保持する力（垂直磁気異方性）は磁場に換算すると19テスラを超えるほどに大きく、その磁気を保持する力が素子に電圧を加えることで制御できることも確認した。

ナノ薄膜磁石を用いた素子の磁極の向きをビット情報とする不揮発性磁気メモリは、システム・オン・チップなどへの応用が進んでおり、人工知能技術への坦懐も見据えて世界的に研究開発が進められている。

世界の半導体製造装置

7～9月販売は1割増

日本半導体製造装置協会は、2018年7～9月期の世界半導体製造装置販売高が前年同期比11%増の158億4千万ドルだったと発表した。

直前四半期に比べると5%減だったが、依然として高水準を維持した。

4～6月期に首位だった韓国が31%減の34億5千万ドルにとどまった一方で、中国が2・1倍の39億8千万ドルに急増したためトップが入れ替わった。

3位の台湾は23%増の29億ドル。日本は40%増の24億1千万ドルで4位だった。北米は15%減の12億7千万ドル、欧州は20%減の8億5千万ドル、その他は32%増の9億8千万ドルだった。

愛媛県新居浜市で公開授業

都市鉱山「みんなのメダルプロジェクト」

環境省は、13日に愛媛県新居浜市の新居浜市立角野小学校で「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に関わる公開授業を開催した。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、新居浜市、新居浜市教育委員会が協力。

同プロジェクトを通じたオリンピック・パラリンピックの機運醸成、小型家電リサイクル制度や循環型社会の有用性を伝えることを目的としている。

公開授業には、リオデジャネイロ2016パラリンピックに出場した廣瀬悠氏（男子柔道90キロ級）と同大会銅メダリストの廣瀬順子氏（女子柔道57キロ級）も参加した。

同プロジェクトは、家庭に眠る携帯電話やパソコンなどの使用済み小型家電から有価金属を回収し、東京2020大会の金・銀・銅メダル合わせて約5千個を制作しようという取り組み。

ボンド磁性材料協会

1月に東京で「新春セミナー」

日本ボンド磁性材料協会（会長・森本耕一郎氏）は1月11日、「2018JABM新春公開セミナー」を東京都荒川区のホテルラングウッドで開催する。セミナー終了後には賀詞交歓会も行う。参加費は会員無料、非会員5千円（賀詞交歓会・会食代含む）。

セミナー講師に科学技術振興機構研究開発戦略センターの永野博特任フェローを招く。今回は「ドイツ発展の秘密～産学公連携と後継者育成～」と題し、研究開発の側面からドイツ特有の産学公の連携システムや若手技術者の養成システムについて講演を行う。

参加申し込みは（http://jabm.la.coocan.jp/registration_seminar_jp.html）から。

YKKAP

札幌市で実証住宅竣工

自社建材で断熱・耐震化

YKKAP（本社・東京都千代田区、社長・堀秀充氏）はアルテイザン建築工房（本社・札幌市北区、社長・新谷孝秀氏）と共同で札幌市東区に改修で断熱・耐震性を新築以上に高めた実証住宅を竣工したと発表した。YKKAPの高断熱な窓や玄関ドアなどを採用して性能を向上。冷暖房などのエネルギーを大幅に低減している。2019年4月まで両社のコンセプトハウスとして事業者向けに公開。ノウハウの提供や地域への情報発信などに活用する。

実証住宅の「北海道の家」は築38年の木造住宅をリフォームした物件。窓には三重構造のガラスを用いた高性能断熱樹脂窓「APW430」を使用した。さらに玄関ドアには断熱タイプの「イノベストD70」を採用しており、断熱性能を改修前の約4・5倍に向上。暖房費を改修前から67%削減している。

さらに耐震性は開口部耐震商品の「フレームⅡ」を使って、窓を減らさず耐力壁量を増やして震度6強でも倒壊しない特性を実現している。販売後もエネルギー収支や光熱費の定点観測など、住宅性能を向上させる改修に関する実証を行う予定となっている。

海外非鉄週況

（12月3～7日）

銅反落、アルミは続伸

▼銅＝直物は週間ベースで65・0ドル安、3カ月物は38・75ドル安と、それぞれ4週間ぶりに反落した。

来週は9日に中国の消費者物価や卸売物価、14日に鉱工業生産や小売売上高の発表が予定されており、市場の関心が高まりそうだ。このほか、11日には英国の欧州連合（EU）離脱合意案の議会採決、13、14両日にはEU首脳会議が予定されている。英国のEU離脱をめぐる先行き不透明感が払拭（ふっしょく）されるか、逆に混迷が深まるかが焦点となる。

13日には欧州中央銀行（ECB）の金融政策も発表される。

▼アルミ＝直物は26・75ドル高、3カ月物は20・25ドル高と、いずれも3週続伸。

▼ニッケル＝直物は202・50ドル安、3カ月物は167・50ドル安と、それぞれ反落。

▼鉛、その他＝鉛は直物が8・25ドル高、3カ月物は10・0ドル高と、いずれも続伸。

亜鉛は直物が80・25ドル高、3カ月物が122・75ドル高と、それぞれ3週ぶりに反発。

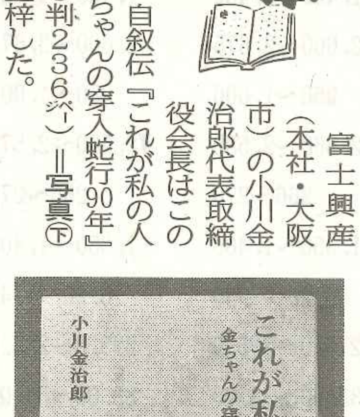
錫は直物が415・0ドル高、3カ月物が350・0ドル高で、いずれも3週ぶりに上昇。

本

富士興産（本社・大阪市）の小川金治郎代表取締役会長はこのほど、自叙伝『これが私の人生 金ちゃんの穿入蛇行90年』（A5判236ページ）＝写真㊦＝を上梓した。

同社はレアメタル・レアアースのリサイクル専業商社。小川会長が約40年にわたる富士商の経験を生かし、レアメタルでのリサイクル事業化の

空隊に配属になるも終戦を迎える。同期のう



られたり、銀行の甘い誘いに乗せられ巨額の負債を抱え込んだりもした」（小川会長）。

稲山嘉寛氏（八幡製鉄社長、新日本製鉄社長・会長）の影響で同門の小唄の稽古に通い名取を取得したことや、趣味のマラソンに没頭した記載も…。巻末には「小川会長の略歴」や「思い出アルバム」のコーナーがある。タイト

郎会長

」発刊

確定出来高
216,954
237,718
215,342
203,942
146,003
8,910
6,635
4,132
4,673
3,766
62,518
71,227
36,502
38,970
63,613
162,276
145,646
116,158
149,993
192,010
125,987
128,957
106,600
107,777
118,983
267,676
322,088
197,208
270,428
334,222
86
612
682
210
593
446
901
612
300
632

SAA

地時間）
イオンス）

定出来高
100,982
92,708
54,736
83,965
70,830

---

ining Company(BMC社)は、ザバイカリエ地方(Zabaykalsky_Krai)カラルスキー地区(Kalarsky)Udokan銅鉱床開発及びUdokan採鉱製錬コンビナート建設の技術設計の承認を得た。同委員会の会議議事録

tal Partners 社(IFG社)傘下のルクセンブルク企業IFG Metals & Mining社とウズベキスタン国家地質鉱物資源委員会は、2018年9月28日、ウズベキスタンの7つのタングステン鉱床の探査・開発に関する

回Perumin鉱業大会の立ち上げに際して、Antamina鉱山では2年前からQaira社のドローンを利用していることを明らかにし、ドローンの利用により採掘可能なエリアの把握や、高品位資源の発見が容易に